



# ニトリウム 1キロ粒剤

有効成分：ペノキスラム …………… 0.50%

ベンゾビシクロン …………… 2.0%

毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

## 特長

- ペノキスラムにベンゾビシクロンを混合することにより残効性を強化した1キロ粒剤タイプの中・後期除草剤です。
- 移植後15日～ノビエ4葉期まで、落水せずに処理可能です。
- ノビエをはじめ、ホタルイや一年生雑草等のSU抵抗性雑草、オモダカ、クログワイなどの多年生雑草に対して高い除草効果を示します。

## 適用雑草名および使用方法

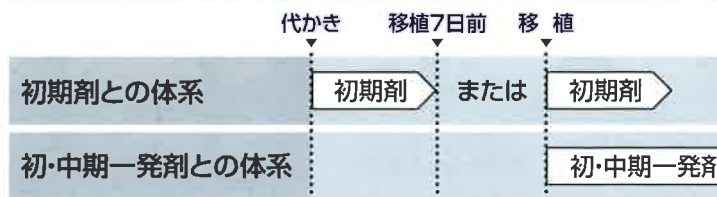
2015年1月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(東北) ミスガヤツリ ウリカワ クログワイ(関東・東山・東海を除く) オモダカ ヒルムシロ(北陸を除く) セリ(九州)	移植後15日～ ノビエ4葉期 但し、 収穫60日前 まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/ 10a	1回	湛水散布	東北、関東・東山・東海、 近畿・中国・四国の 普通期及び 早期栽培地帯
			壤土 ～ 埴土				北陸、九州の 普通期及び 早期栽培地帯

ペノキスラムを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

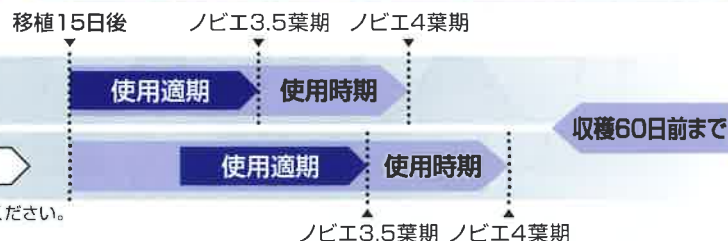
## 上手な使い方

### 湛水のまま田面に均一に散布する



\*優先する草種がノビエより早く生育する場合にはその草種の散布適期に合わせて散布してください。

### 多年生雑草は必ず適期に散布する



## 注意事項

- 多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリは4葉期まで、ウリカワは5葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカは発生盛期～矢じり葉抽出期（草丈30cm以下）、クログワイは草丈20cm以下まで、セリは再生前～再生始期が本剤の散布適期である。
- クログワイ、オモダカは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用する。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- 苗の植付が均一となるように代かきをていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意する。また、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布する。

- 次のような条件では、初期生育抑制を生ずるおそれがあるので、使用を避ける。特に、これらの条件が重なる場合は、初期生育が著しく抑制されるので注意する。  
・異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時・活着遅延を生ずるような異常低温の時・砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）・軟弱な苗を移植した水田・極端な浅植の水田・植え穴のもどりが悪い水田
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意する。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しない。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしない。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

使用前にはラベルをよく読む。ラベルの記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理する。



日本農薬株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号

カスタマーサービス TEL. 03-6361-1414

ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>

2015年1月作成版(TS)BW11501S

明日の  
農業を  
考える

新登場

水稲用 中・後期除草剤



ニトウリュウ<sup>®</sup> 1キロ粒剤

適用拡大

二刀流で問題雑草をバツサリ!

4葉期  
まで



ノビエ

4葉期  
まで



ホタルイ

草丈  
20cm  
以下



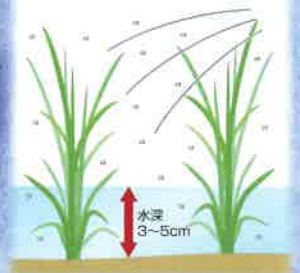
クログワイ

草丈  
30cm以下  
発生時期一  
矢じり薬抽出



オモダカ

必ず洪水状態で散布



■ 効果発現事例

〔社内試験〕 日本農業(株) 2012年

ノビエ



オモダカ



散布前

1週間後

2週間後  
効果進行

3週間後  
効果完成

散布後1週間でノビエは生育停止、オモダカやホタルイは白化が確認でき、およそ3週間で効果が完成します。

